

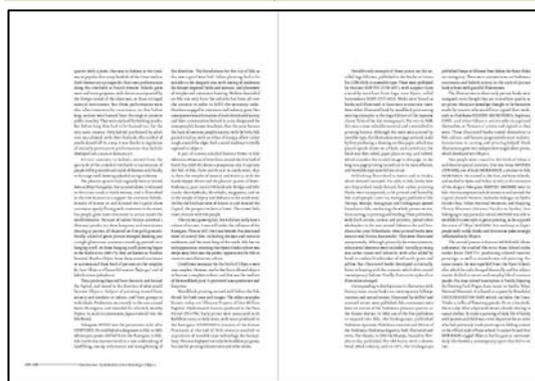
小学館 話題書/新刊 セレクション

春信/写楽/歌麿/北斎/広重 平木浮世絵コレクション大全

The Masterpieces of the Hiraki Ukiyo-e Collection 監/平木浮世絵財団

定価本体 60,000 円 発売日 2021/4/30 判型/頁B4判/546 頁(図版編 370 頁 解説編 176 頁)

ISBN9784096823392



三大浮世絵コレクションの流れを汲む平木コレクションの全貌がここに！

戦前、日本三大浮世絵コレクションとして知られたうちの「三原コレクション」と「齋藤コレクション」を基に、1972年、日本初の浮世絵専門美術館として設立された「リッカー美術館」のコレクションを継承・拡充。重要文化財11点、重要美術品238点、広重作品861点、国芳作品314点などを含む、質が高く保存状態が良いことで世界的に知られる平木コレクションの全貌を概観。

図版編では、他のコレクションにない貴重な初期の浮世絵版画や豪華な摺物、そして北斎、広重、写楽、歌麿、春信、清長、など巨匠たちの代表作をはじめ、17世紀から19世紀に至る浮世絵の歴史を形作ってきた数多くの絵師たちの知られざる傑作までを網羅。全点新撮、最先端のデジタル印刷により、可能な限り再現性の高い図版を実現。解説編では、第一線の浮世絵研究者たちによる詳細な作品解説と最新の知見に基づく書き下ろしの論考を収載。一部日英バイリンガル仕様。

【構成】

図版編：

第1章 浮世絵版画の原点：墨摺彩色、丹絵、漆絵、紅摺絵、春信と初期錦絵

多色摺の完成以前、すなわち量産体制が確立するまで、初期の浮世絵は一枚一枚に手間とコストがかけられていた。平木コレクションでは、墨摺筆彩、丹絵、漆絵、紅摺絵および初期錦絵を極めて良い保存状態で所蔵。新規撮影により、漆の深みや金粉の輝き、また、春信作品のような上質の厚い紙ならではの空摺の神髄をリアルに再現。

第2章 華麗なる超絶技巧：摺物

摺物は市販品とは異なり、趣味人が新年の挨拶などに配るために私的に制作を依頼したもの。絵師が工夫を凝らし、上質な画材を用い、彫・摺の技術も駆使した贅を尽くしたごく少数の特注品である。私家本という性質上、現存は極めて稀であるが、平木コレクションでは80点の摺物を所蔵。保存状態も良く、高度な技術を細部まで鑑賞することが可能。

第3章 大首絵のダイナミズム：美人画と役者絵の爛熟

歌麿、写楽、豊国をはじめ、栄昌、栄水、春章、春好、春英、国政らによる初期から黄金期に至るダイナミックな大首絵の名品を、原寸に近いサイズで掲載。大型書籍ならではの迫力ある図版で美人画、役者絵を堪能することができる。

第4章 広重の風流：ヒロシゲブルーの輝き

平木コレクションを代表する絵師、歌川広重。作品総数は861点にもものぼり、その特徴として、風景画の揃物が充実していることが挙げられる。重要文化財の「江戸近郊八景」をはじめ8種類の揃物が全作品揃っている。名品揃いと名高い大短冊判の花鳥画も16点所蔵。平木コレクションの大きな柱である広重の作品を、風景画と花鳥画を中心に掲載。

第5章 絵師たちの競演：平木コレクション名品撰

清長、歌麿、写楽、北斎ら巨匠の作品を中心に、誰もが知る名品と平木コレクションだけが所蔵するような知られざる傑作を、時代順・絵師ごとに掲載。多様で奥深い浮世絵の歴史を概観する。

解説編：

浮世絵の歴史

History of Ukiyo-e

序論	近世初期風俗画から浮世絵へ	佐藤光信
第一章	寛文～正徳 菱川師宣と浮世絵の誕生	大久保純一
第二章	享保～宝暦 筆彩から版彩の時代へ	田辺昌子
第三章	明和 春信と錦絵の誕生	松村真佐子

第四章 安永 春信以降の展開	内藤正人
第五章 天明 清長と町人文化の興隆	鈴木俊幸
第六章 寛政Ⅰ 歌麿と美人画の絶頂期	森山悦乃
第七章 寛政Ⅱ 写楽と役者絵の爛熟	森山悦乃
第八章 文化～天保Ⅰ 爛熟期の浮世絵	岩切信一郎
第九章 文化～天保Ⅱ 北斎と風景版画時代の開幕	樋口一貴
第一〇章 天保～安政 広重と風景版画・花鳥画の大成 大久保純一	
第一一章 明治 清親と明治の浮世絵	河野 実
第一二章 大正～昭和 新版画	滝沢恭司
浮世絵関連年表	平木浮世絵財団編
平木コレクションについて	森山悦乃

・作品解説 ・浮世絵関連年表 ・英文概説／英文作品リスト

日本浮世絵博物館 浮世絵名品 100 選 監/日本浮世絵博物館

定価本体 8,000 円 発売日 2020/9/10 判型/頁 B 4 / 178 頁 ISBN9784096823330

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682333>



世界最大・最高レベルの浮世絵コレクションからの 100 点、原寸大図版多数

200 年余りにわたって収集されてきた日本浮世絵博物館（長野）所蔵の世界最高レベルの約 10 万点のコレクションから、北斎、歌麿、写楽、広重、春信、国芳など巨匠たちの傑作からあまり知られていない絵師による隠れた名作まで、100 点を厳選、すべて新撮。B 4 判という大型の判型と部分図を活用し、紙地や版木の木目、空摺、雲母摺などの質感まで伝わる高い再現性を実現

した、原寸図版を多数含む迫力あふれるビジュアル本。

気鋭の浮世絵研究者たちによる、最新の研究成果に基づくわかりやすい作品解説と関連テーマに関する興味深いコラム、絵師略伝、浮世絵関連年表、日本浮世絵博物館コレクションの歴史などを収載。一部日英バイリンガル仕様。

ニッポンの浮世絵 ～浮世絵に描かれた「日本のイメージ」

監／太田記念美術館 著／日野原健司 著／渡邊 晃

本体価格 2400 円 発売日 2020/9/10 判型/頁 B 5 判/128 頁 ISBN9784096823347

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682334>



浮世絵を通して「日本らしさ」を読み解く

浮世絵に感じる「日本らしさ」とは何か？ 美しい自然や何気ない日常を愛でる日本人の美意識が詰まった浮世絵を「富士山」「桜」「雨、風、雪」などモチーフごとに読み解く。葛飾北斎「富嶽三十六景」や歌川広重「東海道五十三次」といった誰もが知る浮世絵の名作、喜多川歌麿や東洲斎写楽、歌川国芳ら人気絵師の作品から、あまり知られていない隠れた名品まで、浮世絵専門美術館ならではの充実した所蔵作品、約 180 点を収録。

週刊 ニッポンの浮世絵 100

定価本体各 636 円 発売日 2020/10～2021/5 判型/頁 A 4 変/各 36 頁

<https://www.shogakukan.co.jp/pr/ukiyo/pc.html>



トップ浮世絵師 50 人+名作 50 世界を魅了した浮世絵の新しい見方を紹介

17～19 世紀までの浮世絵の歴史を形作ってきた 50 人のトップ絵師と 50 点の名作を網羅、多角度から読み解く週刊形式の浮世絵マガジン。美しい図版満載。読んで楽しく浮世絵が理解できる。入門書としても最適。全 30 巻。

教えてコバチュウ先生！ 浮世絵超入門 著／小林 忠

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682319>

定価本体 1600 円 発売日 2020/2/25 判型/頁 A 5 判/128 頁 ISBN9784096823194



通常の美術史論から一步踏み込んで、浮世絵の楽しさやすごさを楽しく解説

印象派の画家はじめ多くの世界的アーティストを魅了し、世界の美術史にも多大な影響を与えてきた浮世絵。昨今はポップアートのようにとらえられ人気が再燃している。そんな浮世絵の魅力を、美術史上重要な浮世絵作品 52 点のカラー画像を使用しながらわかりやすく、浮世絵研究の第一人者、国際浮世絵学会名誉会長、学習院大学名誉教授の小林忠が解説する。「そもそも浮世絵とは何か?」「なぜ世界中の人々の心を感動させる力があるのか?」「歌麿大首絵誕生の舞台裏」「写楽の正体の読み解き方」「広重と北斎の名所絵に秘められた知られざる関係」など通常の美術史論から一步踏み込んで、楽しく浮世絵を知る入門書。

教えてコバチュウ先生！ 琳派超入門 著／小林 忠

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682340>

本体価格 1600 円 発売日 2020/11/17 判型/頁 A 5 判/112 頁 ISBN9784096823408



日本美術の本流=琳派の概要と魅力を軽妙な語り口調でコバチュウ先生が解説

琳派は日本美術の中でもひとときわ人気が高いにもかかわらず、直接的師弟関係から発展した画派ではないこともあり、その定義づけは難しい。本書では「琳派」の概要を、俵屋宗達と本阿弥光悦、尾形光琳・乾山兄弟、酒井抱一と鈴木其一、神坂雪佳という中心的存在となる絵師を軸に楽しく解説。「『風神雷神図屏風』誕生の舞台裏とそこに秘められた宗達の制作意図は?」「琳派を代表する名作『燕子花図屏風』は何が画期的だったのか?」「宗達、光琳、抱一と百年ごとに登場する天才絵師と、彼らが模写する形で時代をつないでいった琳派芸術の根底に流れる変わらぬ美意識とは?」など、琳派がなぜ日本美術の本流と言われるのか、その意味と素晴らしさを、軽妙なかたり口調で、日本を代表する江戸絵画研究の権威、小林忠がわかりやすく解説する。

渡辺省亭画集 監／山下裕二 監／古田 亮

本体価格 55,000 円 発売日 2021/3/15 判型/頁 B 4 判/356 頁 ISBN9784096823507

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682350>



大規模展覧会開催！ 欧米を魅了した花鳥画 渡辺省亭初の豪華画集

明治～大正期に活躍、伝統的な日本画の技法の上に西洋画の表現を取り入れた花鳥画で高い評価を得た画家、渡辺省亭。明治 11 年、パリ万博を機に日本画家として初めてフランスに渡り、ドガやマネなどと交流。また、東宮御所を飾る七宝額の原画を制作するなど歴史に残る仕事も手がけている。ただ、晩年は画壇と距離を置いたため、没後紹介される機会が失われ、忘れられた存在となっていたが近年、研究者や美術愛好家の間で再評価の機運が高まり、注目度が一気に上昇。今年 3 月から大規模な展覧会 (<https://seitei2021.jp/>) が東京藝術大学大学美術館で開催された。本書はこの美術展にあわせ、代表作 150 件以上を収載した初の大型画集である。迎賓館赤坂離宮の七宝額原画全点や、初公開の個人コレクションの数々、欧米の美術館が所蔵する作品も多数収載。花鳥画のほか、美人画、風俗画、風景画など省亭の多彩な作品から厳選して紹介。また、省亭が編集主幹となって出版した『美術世界』などの版本や挿絵、工芸品も掲載し、画業全体を俯瞰できる構成となっている。

<本書の特徴>①繊細な筆致がじっくり鑑賞できるように、1 ページ大の部分アップを多数掲載収録作品のうち 70 件以上はこの画集のために新たな撮影を慣行。最新の上質なビジュアルを堪能できる③メトロポリタン美術館、ボストン美術館など海外の有名美術館が所蔵する省亭の作品を網羅④監修者はじめ、多くの研究者の論考と作品解説、詳細な年譜を収載。資料的価値も高い 1 冊⑤展覧会出品作の大多数を掲載。

★回顧展公式ガイドブック **渡辺省亭画集渡辺省亭ー欧米を魅了した花鳥画ー** <編／東京藝術大学大学美術館> 本体価格 2364 円 発売日 2021/3/25 判型/頁 A 4 判/128 頁 ISBN9784096823491 も発売中。 <https://www.shogakukan.co.jp/books/09682349>

名刀大全 監／渡邊妙子 監／原田一敏 <https://www.shogakukan.co.jp/books/09682304>

定価本体 35000 円 発売日 2020/1/23 判型/頁 B4判/354 頁 (図版編 240 頁 解説編 144 頁)

ISBN9784096823040



名刀の魅力と歴史がわかる決定版大型作品集

正倉院宝物、御物や国宝、重要文化財、神社神宝を中心に、古代から江戸時代まで、千年余りにわたる刀剣の歴史のなかから、名刀中の名刀 200 本を厳選。図版編では、上製ヨコB4 判で片観音付という大型で特殊な判型を活かし、数々の原寸図版を含め、ダイナミックなビジュアルで名刀の魅力を余すところなく紹介。また、時代別および各地域で活躍した名工たちの流派別を併用して並べ、複雑な刀剣の歴史が一目でわかるように掲載。

解説編では、監修者をはじめとする第一線の研究者たちが最新の知見に基づき、古代から近代までの刀剣の歴史を初めて体系的に解説するとともに、図版編で掲載した各名刀の伝来や作風を具体的にわかりやすく解説。刀剣の格式や名刀の非破壊分析など興味深いテーマについての論考も掲載。「刀工流派相関図」や「日本刀用語集」「日本刀部位名称図解」「日本刀の分類図解」「地鉄・刃文の種類図解」など資料も充実。一部日英バイリンガル仕様。

東大寺 撮／三好和義

定価本体 360,000 円 発売日 2020/5/25 判型/頁 B2 判 (728×515mm) /302 頁

ISBN9784096823262 <https://www.shogakukan.co.jp/pr/sumo/todaiji/>

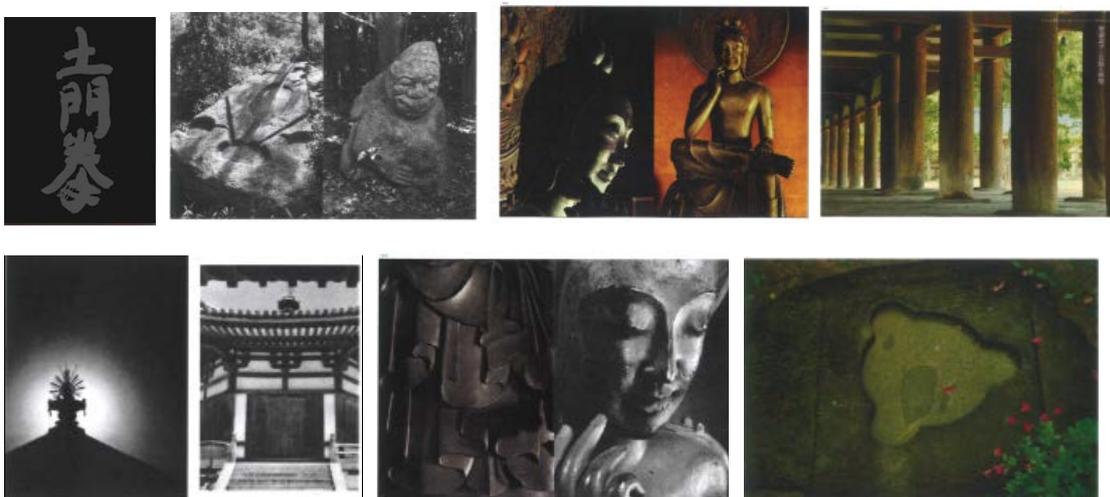


大型本 1 弾。リアルを超えた臨場感、ここでしか見ることのできない東大寺の姿
 写真家・三好和義が 最新デジタルカメラで 撮影した東大寺の写真を、場所別・季節別・時間別に流れを作り大型写真集としてまとめた。B2判型での掲載により、実際に目で見るとはるかに細かい描写までわかるような迫力を読者に届ける。デジタル印刷技術の進化によってこそ実現できる超大型本の企画。特別に許された、普段立ち入れない場所からのアングルや普段見る事のできない宝物、そして二月堂で行われる修二会「お水取り」の様子なども掲載。奈良に住み東大寺を撮影し続けている三好だからこそ撮影できた写真の数々を最大限大きく本として後世に残すことは、学術的にも意義深いことと考えている。

土門拳 写真／土門拳

定価本体 320,000 円 発売日 2020/5/25 判型/頁 【図版編】B2 判 (728×515mm) /284 頁 【解

説編】A4 変形判 (297×175mm) /68 頁 ISBN9784096823569



大型本第2弾。写真界の巨人、土門の作品が大迫力、圧倒的な存在感でよみがえる
 土門のライフワーク『古寺巡礼』を中心に、飛鳥～鎌倉時代までの仏像、仏教建築の写真全216点（1940年代撮影のガラス乾板27点、モノクロネガフィルム52点、カラーポジフィルム137点）を精選。最新のデジタル印刷技術によって再現した1冊。土門が日本人の心に迫ろうと、細部をクローズアップしてとらえた作品群が、1ページ72.8×51.5mm（見開くと横約1m）の大画面から強烈なインパクトで見る者に訴えかけてくる。法隆寺、東大寺、薬師寺、東寺、中尊寺、平等院など世界遺産に登録された寺院を含む26カ寺の古建築・仏像と5地域の石仏・石造品を掲載。日英バイリンガル仕様。

【構成】1 遙かなる飛鳥 2 聖徳太子と仏教の興隆 3 白鳳・天平の精華 4 山岳仏教と密教 5 浄土への憧れ 6 中世の静かなる祈り 7 石仏 強く美しく

まればと 著・撮／石川直樹 <https://www.shogakukan.co.jp/books/09682306>

定価本体 7,000円 発売日 2019/11/22 判型/頁 A4判/320頁 ISBN9784096823064



10 儀礼がユネスコ無形文化遺産、日本各地の来訪神儀礼と異形の神を迎える人々

世界をフィールドに活動しながら、文化人類学や民俗学への関心を持ちつつ活躍する写真家石川直樹が撮りためた日本の『来訪神』儀礼をまとめた一冊。

日本列島には折口信夫がいうところの「まればと」、すなわち異形の神を迎える儀礼が数多く残されている。それらは海や山の彼方から現れる来訪神であり、彼岸からやってくる魂でもあるという石川が、そうした仮面の祭祀儀礼について10年以上に渡って撮影し続けた貴重な写真をまとめたのが本書である。

仮面をかぶり、異形の姿で、家々をまわる来訪神儀礼。北は、男鹿半島のナマハグ、秋田県能代市のナゴメハギから、石川県輪島市のアマメハギに至るまで9儀礼、南は、トカラ列島・悪石島のボゼをはじめとして、下甕島のトシドン、沖縄・宮古島パントウ、西表島のミルクなど11儀礼。これら、日本列島に残る20の来訪神儀礼を網羅。

天地創造 THE EARTH 撮／白川義員

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682308>

本体価格 90000 円 発売日 2020/2/28 判型/頁 A 3 判/432 頁 ISBN9784096823088



”地球再発見による人間性回復へ”を理念にした写真家・白川義員の集大成

1969年の作品集『アルプス』から、2012年『永遠の日本』までの11の作品集を編む際に、これぞ“天地創造”だと確信したカットを選び秘蔵しておいたものを中心に、2017～18年に南北アメリカと中国へ新たな撮影を敢行した中からも選りすぐった196点を収録。143か国を巡り、世界の名山127、名瀑188を撮影、ヒマラヤ山脈東西3000kmを踏破し、そして人類史上初の南極大陸一周という偉業を成し遂げた写真家は、白川ただ一人。この写真集は、命をかけて地球と対峙した白川の、写真家人生58年の凝縮ともいえる。最高の印刷技術による臨場感たっぷりの「作品編」328ページと、著者による全点の作品解説と撮影記書き下ろしを収録した「解説編」104ページの2冊組。

空海 五大の響き 撮／永坂嘉光 <https://www.shogakukan.co.jp/books/09682291>

定価本体 15000 円 発売日 2019/4/10 判型/頁 菊倍判/220 頁 ISBN9784096822913



千二百年の時を超え、人々に慕われる弘法大師空海の謎と伝説に迫る

故郷四国から深山の修行の地、中国への旅など、大自然の中で体感した空海の軌跡を映像化。密教の根本道場である東寺や高野山はもとより、吉野、天川で今も続く修行や行事、秘仏なども多数収録。半世紀にわたり空海のイメージを追い求めてきた写真家が、謎と伝説に満ちた空海像に迫る決定版写真集。代表作から新作まで、作品147点を収載。

【本書の特徴】○高野山と空海像をテーマに撮り続ける写真家の決定版作品集。○生誕地から四国・紀伊山地の修行の地、唐への求法の旅、帰朝後開いた東寺、高野山など、空海の軌跡を映像化。○空海構想の東寺・立体曼荼羅や行事を撮り下ろし。○山野の風景や密教の伝灯行事、秘仏を多数掲載。○京都神護寺、吉野金峯山寺、天河大辨財天社、丹生都比売神社他ゆかりの地を独自取材。○作品一点一点に日・英の写真解説付き。

ニッポンの名茶碗 100 原寸大図鑑

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682330>

本体価格 2800 円 発売日 2020/6/25 判型/頁 B20 (180×180 mm) 取/240 頁 ISBN9784096823309



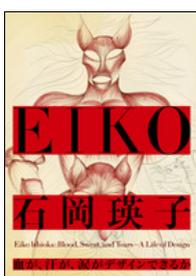
日本美術史上の名茶碗 100 点を原寸掲載

茶の湯文化は室町時代以来の日本文化において重要な役割を果たしてきた。中でも茶碗をはじめとする茶道具は日本美術の欠くべからざる領域である。本書では日本美術史上極めて貴重な茶碗 100 点を厳選、カラー原寸大で掲載する。国宝指定 8 茶碗のうち、美術館所蔵の 6 碗を全て紹介。特に本阿弥光悦作の国宝「白樂茶碗 銘 不二山」は出版物に掲載されることがあまりなく、注目。天目茶碗をはじめとする唐物の茶碗、井戸茶碗など高麗の茶碗、わび茶の勃興とともに国内で盛んに作られた和物茶碗、そして千利休によって生み出された楽茶碗まで、100 の茶碗は茶の湯文化を俯瞰して理解する上で貴重な資料となる。

〈 目次 〉はじめに 茶の湯における名茶碗の歴史／第 1 章 唐物 名茶碗／第 2 章 高麗 名茶碗／コラム 名茶碗と茶人たちの物語／第 3 章 和物 名茶碗／第 4 章 楽 名茶碗／名茶碗をもっと楽しむためのキーワード 50/Index 索引

石岡瑛子 血が、汗が、涙がデザインできるか

本体価格 3182 円 発売日 2021/1/28 判型/頁 B5 変/336 頁 ISBN9784096823422



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682342>

世界初の大規模回顧展公式図録。石岡瑛子がこだわりと格闘の軌跡が見える一冊

日本を代表するアートディレクターであり、グラフィックデザインを皮切りにプロダクトや衣装デザイナーとしても活躍した石岡瑛子の世界で初めてとなる大規模回顧展公式図録。資生堂時代から、NY に拠点を移して以降のコッポラ、M.デイビス、ビョークら世界に冠たるクリエイターとコラボレーション、オリンピックやオペラ、サーカスの衣装デザイン、その結実としてアカデミー賞、グラミー賞。多岐に亘るジャンルの仕事に挑戦し、いずれも高い強度で成し遂げた石岡瑛子の仕事を総覧する。

THE GENGA ART OF DORAEMON ドラえもん拡大原画美術館

著／藤子・F・不二雄 <https://www.shogakukan.co.jp/books/09199069>

本体価格 6273 円 発売日 2021/4/7 判型/頁A 4 判/232 頁 ISBN9784091990693



『ドラえもん』史上初の本格美術画集！ 全文英訳付きで日本語学習者にもおすすめ
藤子の漫画は、その1コマ1コマが絵画として鑑賞できる「作品」である。微妙なペンタッチや墨の濃淡、丁寧にホワイトで修正された跡、かすかに残る鉛筆の線……。作者の体温や息づかいさえまで感じられるような生々しい筆致は、一般的な印刷物の2倍にあたる高解像度での撮影によって、今回初めて紹介することが可能になった。
本書では、美術的視点から「まるみ」「顔・表情」「構図」「ひみつ道具」など7つのテーマで『ドラえもん』のコマを厳選し、拡大。カラー&モノクロで130点以上の原画を掲載している。橋本麻里による日本美術の視点から『ドラえもん』に迫る特別コラム7編や、浦沢直樹×むぎわらしんたろう『ドラえもん』の作画スタイルを語り合う対談も掲載。特別付録、原画原寸で読む名作！『ゆうれい城へ引っ越し』つき。

コンセントの向こう側 著／中筋純

本体価格 2400 円 発売日 2021/2/17 判型/頁 A 5 判/224 頁 ISBN9784096823552

<https://www.shogakukan.co.jp/author/13974>



原発事故から 10 年 「福島」の切なくも美しい現実

「赤々と煌々とコンセントのこちら側」「いつも真夜中コンセントの向こう側」東京の街を鮮やかに彩る光。その光はどこから来たのだろうか。その繁栄はいったい何によってもたらされていたのだろうか。震災後の福島を撮り続けた写真家の膨大なストックの中から厳選した写真に、随筆・詩を添え、「語られない真実」を召還、「忘却された物語」を紡ぎ出す。大爆発を起こした福島第一原発。約半世紀かかると言われる廃炉作業は計画通りに進むのだろうか。膨大な高レベル放射性廃棄物は誰が引き受けるのだろうか。約束された「明るい未来は」どこにいったのだろうか。科学の名のもとに、放射能という寝た子を起こしてしまった人類は、これから途方もない時間を「目覚めた子」と向き合わなければならない。

家族写真 ～ 3. 11 原発事故と忘れられた津波 著／笠井千晶

本体価格 1600 円 発売日 2020/6/10 判型/頁 四六/370 頁 ISBN9784093887670



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388767>

小学館ノンフィクション大賞受賞作。「復興」からこぼれ落ちた真実がここに。

福島県南相馬市で生きる上野敬幸さん一家を襲った東日本大震災。両親と幼い 2 人の子どもが津波にのまれた。しかし原発事故により、自宅のあった地区は避難指示区域に指定、行方不明者がまだいるにも関わらず、警察も自衛隊も捜索に入らなくなってしまった。著者は、避難を拒み、仲間とともに行方不明の家族を自力で捜す上野さんの姿を、7 年にわたり丹念に取材。震災から年月が経つにつれ一般には報道されにくくなってしまった、被災地での現実が明らかにされる。

十代目金原亭馬生 東横落語会 CDブック 編／「落語 昭和の名人」編集部

本体価格 35,000 円 発売日 2021/3/15 判型/頁 B5判/104頁 CD20枚 ISBN9784094801286

<https://www.shogakukan.co.jp/pr/basho/>



ある時は墨絵のごとく、ある時は漫画のごとく。馬生の真髓に迫る 50 席、初出し 46 席 父・志ん生と弟・志ん朝。二人の名人にはさまれた馬生の世に出た音源は少なく、偏った印象が一人歩きしている。馬生の口演をこれだけの規模で集成するのは初。初商品化 46 席を含む 50 席を CD20 枚に収録した。

墨絵のようにしっとり語り上げる『お初徳兵衛』『お富与三郎』『夢の瀬川』。漫画的なデフォルメの効いた『あくび指南』『垂乳根』。恨みや絶望を深くえぐる『江島屋』『豊志賀』。滑稽の極みから人情哢まで、幅広い演目をひとりの哢家が演じ、他の追随を許さない。没後 38 年、深い人間理解に基づく語り口は、聴いたあとに深い余韻を残す。

DVD BOOK 春風亭一之輔 十五夜 著・出演／春風亭一之輔

本体価格 39,900 円 発売日 2019/12/16 判型/頁 A4変/64頁 ISBN9784094803877

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09480387>



春風亭一之輔独演会映像 45 席を一挙公開！ 貴重なネタおろしの映像も収録

「1 公演で大ネタをひとつネタおろしで演じること」を自ら決めて臨んだ独演会。始まりの 2014 年は、1 日の公演で 3 席。2 年目には 2 日間の公演で合計 6 席…と、年を追うごとに公演日数を 1 日増やし、5 年目で 15 席、全部で 45 席を熟演。それぞれの高座の「まくら」もほぼそのまま収録。よみうり大手町ホールの臨場感が丸ごと伝わってくる。特にネタおろしは、二度と見られない貴重な映像。また、解説本も充実。ネタおろし 15 席をやり遂げた一之輔が胸の内を語るロングインタビューや、『落語一之輔十五夜』を 1 年目から見守ってきた長井好弘による演目解説も読み応えがある。迫力満載の写真も掲載。

逆転の戦国史 ～「天才」ではなかった信長、「叛臣」ではなかった光秀

著／砂原浩太郎 <https://www.shogakukan.co.jp/books/09388805>

本体 1300 円 発売日 2020/12/18 判型/頁 四六/192 頁 ISBN9784093866040



新しい戦国を伝える、英傑たち 21 篇の真説

戦国時代は日本史の華である、とあってよい。が、ここ数年、戦国史は様変わりしてきた。歴史研究の進展や新史料の発見などにより、これまでの通説がつぎつぎと覆され、まったく違った相貌を見せていたのである。本書は、そうした「新しい戦国」を伝えるべく、歴史小説家・砂原浩太郎が、小説家らしく、フィクションや逸話の面白さも尊重しつつ、近年明らかとなってきた戦国の実像を読者に紹介する。いたずらに通説を否定することはなく、著者が感じたような高揚感とともに、新説へのあざやかな転換を楽しんでいただける 21 篇を収録した。従来のイメージが大幅に修正された、信長、光秀など、英傑たちの新しい実像に迫る。

日本はこうしてつくられた ～大和を都に選んだ古代王権の謎

著／安部龍太郎

本体価格 1200 円 発売日 2020/12/28 判型/頁新書判/272 頁 ISBN9784093434454



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682342>

日本の成り立ちを現地取材で謎解き

直木賞作家・安部龍太郎氏渾身の歴史紀行。〈古代日本人はなぜ大和の地を中央集権的な都として選んだのか?〉〈国譲り神話をめぐる出雲と大和の関係〉、〈文字がまだなかった時代の出雲から出土した硯の謎〉、〈神武天皇上陸伝承地・熊野〉、〈秦の始皇帝に具申したうえで日本にわたって来た徐福上陸地から出土した秦の半両銭〉、〈中世の天皇家が繰り返し参詣した熊野三山の絶景〉、〈奈良大仏と八幡神のふるさとの関係〉、〈対隼人の最前線だった国東半島〉、〈大和と密接な関係を築いた古代丹後王国〉、〈丹後半島甲山から見た日本海の絶景〉、〈日本海三大古墳と大和の関係〉、〈対蝦夷の最前線軍事基地としての房総半島〉、〈大和との密接な関係を示唆する房総半島の古墳群〉、〈最初的前方後円墳「箸墓古墳」と最後の前方後円墳「浅間山古墳」〉、〈四国の阿波と房総の安房を結んだ黒潮〉など、古代日本の成り立ちを丹念に解き明かす。完全現地取材、最新知見を展開。

音楽の肖像

画・文／堀内誠一 著・詩／谷川俊太郎

本体価格 2500 円 発売日 2020/10/30 判型/頁 A5判/160 頁 ISBN9784093887854

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388785>



肖像画とエッセイ、詩が協奏する音楽の喜び。日本語学習者の読本にもおすすめ

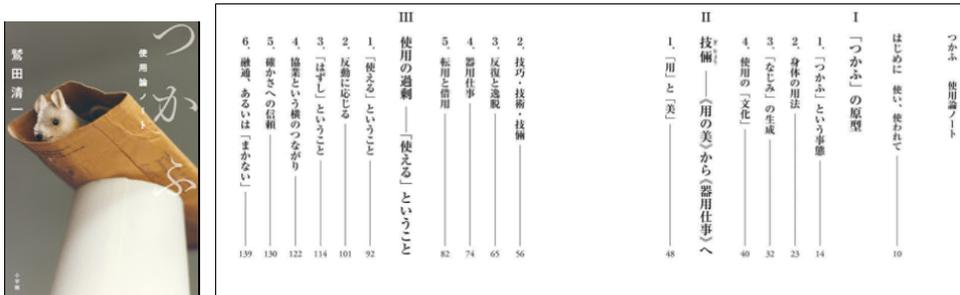
「音楽は世界を隔てることなく丸ごと包み込む。僕はずっと、詩でそういう世界を作りたいと願ってきた」と語る谷川。堀内誠一が遺した素晴らしい肖像画とエッセイに谷川の詩が協奏する。カラーも満載の宝物のような一冊。見開きの右ページに堀内による各作曲家の軽快なエッセイ、左ページにカラーの肖像画、そして次の見開きに谷川による全作曲家にちなんだ詩（書下ろしも多数）。日本語学習者（中級）にもおすすめの1冊。収録された作曲家はモーツァルト／ドヴォルザーク／ショパン／ブラームス／ガーシュイン／シューベルト／ラフマニノフ／ビゼー／バッハ／サティ／ストラヴィンスキー／リストなど28人。

つかふ ~使用論ノート

著／鷺田清一

本体価格 2000 円 発売日 2021/1/14 判型/頁 46/262 頁 ISBN9784093888059

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388805>



「つかう」という言葉の様相を、現代哲学第一人者が様々な観点から考察

道具をつかう、出汁をつかう、楽器をつかう……、同じ「つかう」でも、その意味はさまざま。この単語を契機に、意味を探り、使われ方の変遷を辿り、哲学はもちろん、民俗学、芸術学、料理本まで関係書物を渉猟し、考えを深めていく。著者は現代哲学の第一人者である鷺田清一。人をつかうから始まり、道具の使用、民芸での意味の変遷、多種多様な身体用法、武道でのかけひき、保育/介護の場面での展開、ペットとのつきあい、人と楽器の関係など具体的な場に即して、徹底的に考え抜く。

渡辺錠太郎伝 ～二・二六事件で暗殺された「学者将軍」の非戦思想 著／岩井秀一郎

本体価格 1800 円 発売日 2020/1/30 判型/頁四六/338 頁 ISBN9784093887472



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388747>

山本七平賞奨励賞を受賞した気鋭の歴史研究者による傑作評伝

ベストセラー『置かれた場所で咲きなさい』で知られるシスター渡辺和子の父・錠太郎は、日本が戦争へと突き進む中で起きた史上最大のクーデター未遂事件「二・二六事件」で、陸軍軍人としてただ一人“襲撃目標”にされた人物だった。「非戦平和」を唱え続け、志半ばで凶弾に斃れた悲劇の軍事エリートは、なぜ同じ陸軍の兵士たちの手で殺されなくてはならなかったのか。あの日、渡辺邸で何があったのか。残された娘は、父の死に何を学び、どう行動したのか——。戦争だけはしてはいけない。第一次大戦後のドイツなどを視察し、戦争の実相を知悉していた彼は、戦争を避けることがいかに重要かを説いて回った「良識派」軍人の思想と生涯が初めて明かされる。

日本をダメにした財務省と経団連の欺瞞 著／三橋貴明

本体価格 1400 円 発売日 2020/7/2 判型/頁四六/240 頁 ISBN9784093887762



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388776>

日本貧困化の元凶がここにある。

アメリカの GAF A (グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン) とマイクロソフトの 5 社だけで、日本の東証 1 部上場会社 2160 社の時価総額を超える。1997 年から 2018 年の労働者賃金は時給換算で英 93% 増、米 82% 増、仏 69% 増、独 59% 増に対し、日本はマイナス 8%。GDP こそ世界 3 位だが、もはや先進国ではない。なぜ衰退国となったのか。財務省が「国の借金 1000 兆円」(政府の債務) を拡散し、プライマリーバランスの黒字化目標を掲げて緊縮財政を続け、消費増税を繰り返しているからに他ならない。実際に新型コロナウイルスが前から、GDP は凄まじく落ちていた。さらに消費の「罰金」である消費税をなぜ経団連は諸手を挙げて賛成するのか。それは、消費増税の代わりに法人税が減税されるからだ。巷で信じられている常識を覆す、驚きの真実。

菅義偉の正体 著／森功

本体価格 1000 円 発売日 2021/2/1 判型/頁新書判/400 頁 ISBN9784098253920



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825392>

「庶民宰相」の虚飾を暴く

「私は雪深い秋田の農家に生まれ、地縁、血縁のない横浜で、まさにゼロからのスタートで政治の世界に飛び込みました」菅総理の所信表明演説は、「叩き上げ」「庶民派」という自らのイメージを最大限にアピールするものだった。しかし、『悪だくみ』『官邸官僚』などで知られるノンフィクション作家・森功氏の徹底取材により、そのイメージは虚飾に彩られたものであることが明らかになっていく。「父は秋田のいちご王」「裕福だった少年時代」「集団就職ではなく家出して東京へ」「大企業にすり寄った横浜市議時代」「ハマのドンとの蜜月」「出来レースだった総裁選」「新自由主義者と IT 業者が糸を引く利益誘導型政治」……国家観なきまま最高権力者となった新総理の実態を丸裸にする。評伝『総理の影 菅義偉の正体』に総理誕生後の新章を大幅加筆して新書化。

コロナとバカ 著／ビートたけし

本体価格 800 円 発売日 2021/2/1 判型/頁 新書判/192 頁 ISBN9784098253906



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825390>

ウイルスより、よっぽどヤバイぞニッポン人

本書には、様々な残念な人たちが登場、たけしが痛快に切り捨てる。

●国民に外出自粛をお願いしておいて、自分の妻には言えない前総理大臣 ●スイーツやコミック好きをアピールして「かわいいオジサン」ぶる現総理大臣 ●政権批判ブームが終わったとたん、すっかり黙りこんでしまった芸能人 ●総理大臣が辞めるとなった途端、ご祝儀で支持率をアップさせる日本人 ●世襲なのに「自分の手柄」と勘違いしている政治家 ●コロナでも営業しているパチンコ店を実名公表して宣伝してしまった府知事 ●パフォーマンスばかりで実際は何にもやってない都知事 ●交通事故で人を死なせておいて、「車の誤作動だった」と言い張る老人 ●手間と時間をかけて「GoToイート錬金術」で小銭を稼ぐ貧乏人 ●SNSで人を叩くくせに、面と向かっては何も言えないネット民 ●大谷翔平や藤井聡太を見て、「自分の子も」と考える親、などなど。ああ、こんなニッポンに誰がした。

葬送のフリーレン1～4 原作／山田鐘人 作画／アベツカサ

<https://www.shogakukan.co.jp/books/volume/49549>

<https://www.shogakukan.co.jp/news/331744>

本体価格各 454 円 発売日 2020/8/18～ 判型/頁 新書判/①④192 頁 ②③200 頁

①ISBN9784098501809 ②ISBN9784098501816 ③ISBN9784098502851 ④ISBN9784098502851



書店員中心のマンガ好きが選ぶ今一番面白いマンガ”マンガ大賞2021” 第1位！
2020年4月より「週刊少年サンデー」で連載をスタート、「マンガ大賞2021」で見事大賞を受賞。さらに、SNSでも大きな話題を呼んでいるファンタジー。第1～4巻までのコミックス累計発行部数は200万部を突破。物語は冒険の終わりから始まる、魔王を倒した勇者一行の“その後”を描いたファンタジー作品。人よりも長生きなエルフの魔法使い・フリーレンが、勇者亡き後“人を知る”ための旅に出る。後に残った者たちが紡ぐ葬送と祈りとは…。最新5巻(ISBN9784098506347)、連載中。

チ。—地球の運動について— 1～3 作画／魚豊

本体価格各 591 円 発売日 2020/12/11～ 判型/頁 B6判/①160 頁②170 頁③192 頁

①ISBN9784098607785 ②ISBN9784098608010 ③ISBN9784098608782



マンガ大賞第2位！ 動かせ 歴史を 心を 運命を ——星を。

舞台は15世紀のヨーロッパ。異端思想が火あぶりに処せられていた時代。主人公の神童・ラファウは飛び級で入学する予定の大学において、当時一番重要とされていた神学の専攻を皆に期待されていた。しかし、ある日ラファウの元に現れた謎の男が研究していたのは、異端思想ド真中の「ある真理」だった——異端審問と地動説の研究者の対峙を描く。命を捨てても貫きたい心理はあるのか？ 血を流しながら、真理に迫ろうとする人々の熱い物語。台詞一つ一つに、心の奥へ届く力がある。ビッグコミックスピリッツ連載中。